

令和2年度 湯田小学校重点事項評価カード(1学期)

1 確かな学力の育成							
目的							
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分で課題を設定したり，方法を工夫したりしてよりよく問題を解決する力</li> <li>○ 比較，分類，関連づける等の活動をとおして自分なりの考えをもち，友達にわかるように説明する力</li> <li>○ 基礎的な知識や技能，態度，考え方</li> </ul>							
【指標】評価達成項目において，達成率を8割以上にする（クリア80）ことで，新成就値（NRT検査）全児童3ポイントアップをめざす。							
具 体 策	共通達成項目「クリア80」の内容				評 価		
	☆ 目標：教師評価平均3.2				1	2	3
				学期	学期	学期	
○ 学力向上のための5つの共通実践事項	学業指導Ⅰ	挙手の手は伸び，書く・話すときは背筋をのばしている。			2.6		
		話者に正対し，反応（うなずき・拍手・メモ等）しながら聞いている。			2.5		
		発表は，みんなに聞こえる声で，明確に発音している。			2.5		
		ラスト10分の習熟の時間確保ができています。			2.5		
		読書目標冊数に向けて読書している。			2.6		
		各学年の目標時間に応じた家庭学習ができています。			2.9		
○ 教職員評価項目チェック事項	学業指導Ⅱ	めあて・まとめを板書している。			3.0		
		学習の流れ，思考の流れが分かるような板書をしている。			2.9		
		チャイムで始まりチャイムで終わる授業をしている。（小中一貫重点）			3.2		
		進んで挙手したり，積極的に発言・発表・活動をする授業をしている。			2.9		
		主体的・対話的な学習態度を育成している。（授業中，児童が交流する場面を設けている。）			2.7		
自由記述							

2 いじめ・差別をなくし、一人一人を大切にす教育の推進							
目的		○ やさしさ・思いやり感謝の心を育む親和と秩序ある集団づくり ○ 一人一人の思いを受容できる教師集団づくり					
【指標】 共通達成項目において、達成率を8割以上にする（クリア80）							
具 体 策		共通達成項目「クリア80」の内容 ☆ 目標：教師評価平均3.2			評 価		
					1 学期	2 学期	3 学期
○一人一人を大切にす教育チェック事項	生徒指導・特別支援教育	☆ 「先見大笑」のあいさつができています。(学校重点)			2.1		
		☆ きまりを守ることができています。(学校重点)			2.5		
		☆ 最後まであきらめない態度が身についている。(学校重点)			2.6		
		☆ 「あいさつ・返事・くつならべ」の継続した指導ができています。			2.6		
		☆ 一人一人の困り感に応じた適切な指導ができています。			2.7		
		☆ 一人一人の心に寄り添う教育相談ができています。			2.5		
		☆ 特別な支援を必要とする児童の実態把握が全職員でできています。			2.6		
		☆ 自己肯定感や自己有用感をもたせる指導ができています。			2.4		
○経年経過を見る評価	満足度	☆ 現在の学校に満足していますか。 ※番号で答えて下さい。			2.5		
		④ 満足	③ まあ満足	② やや不満	① かなり不満		
自由記述							

担任・専科以外の職員は☆のみ回答

< 評定基準 >

- 4 = 大変良い . . . . . 適切な取り組みがなされていて、高い水準である。  
3 = 良い . . . . . 適切な取り組みがなされていて、満足できる水準である。  
2 = 課題がある . . . . . 取り組みが不十分で、成果も十分でない。  
取り組んだが、満足できる成果が見られなかった。  
1 = かなり課題がある . . . . . 取組が不十分で、成果がほとんどあがっていない。

## 令和2年度 1学期重点事項評価カード（職員コメント）

### 1 確かな学力の育成

- 学年が上がるにつれて、学習内容も多くなり、授業の中だけでは学習内容の定着が図れない。復習、習熟の時間を十分に時数の中でとれない。宿題を活用するにしても、作成、確認の時間に追われ、退庁時刻をオーバーする。また、家庭学習の取組、保護者の協力で課題を感じた1学期であった。
- 教師自身も声の大きさ、**話し方(発問、指示の出し方)について、効果的な在り方**を考え、実践したい。言葉が多すぎて、子どもの思考の妨げになっていることはないだろうか。**<教師の話す時間の短縮→子どもの主体的学習>**
- 業務改善に努めようと考えているが、学力向上が重点項目である以上、どの部分（時間）を工夫すればよいのか分からない1学期でした。
- 校内研修の授業参観を通して、算数科における教師の連携について学ばせてもらった。さらなる学力向上を目指して、指導法改善と担任の打ち合わせ時間を2学期はしっかりと確保していきたい。（教具や評価項目など）
- 教科や単元によって主体的・対話的な学習を実施できなかったものがある。
- 黙って話を聞くという指導に時間を要した。

### 2 いじめ・差別をなくし、一人一人を大切にす教育の推進

- 子どもたちへの指導や向かい合う時間を生み出す工夫を学校全体でできるとよい。例えば、職朝は週1に減らし、その15分を学級の時間にあてるか、早く下校させ、教材研究の時間にあてられるとよい。
- **職朝の短縮**を図るためにも、**「おはようございます。」**のあいさつは、司会者が始まりに言うのみ。**各係の連絡では必要なし。**  
**<あいさつ無し、説明カット・精選→職朝のスリム化>**
- 補教計画を立てる際、担任が計画を作成してから教務へ提出するようになっているが、入ってくださる先生を見つける手がかりがないので、少し戸惑った。
- 廊下歩行についての指導は、その場での指導を全職員で行っていきたい。
- 学習環境の充実についても議論が必要ではないか。（教室・校庭等）
- 業務改善からの視点で保護者への配布物の精選及び裏面活用。長子配布の文書が多いと帰りの会は配布物を配るだけで終わってしまう。（大切なことを全員配布にするとよい。）
- **A校時が多すぎる。**せめて週2回の職朝はほしい。  
**<A校時の制限→職員の共通理解化、校内美化>**
- 日本スポーツ振興センター共済掛金を別に集めるのは面倒、460円確認する手間がかかる。学級の集金で全員集める。返金は担任がPTA時か、子ども便で行う。

令和2年7月21日

保護者 各位

日置市立湯田小学校  
校長 岩脇 勝広

### 学校教育に関するアンケートの結果について（報告）

保護者の皆様には、日頃から学校の教育活動の推進に御理解・御協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、7月に実施しましたアンケートの集計結果は、次のとおりでしたので、お知らせします。

特に、家庭学習の習慣化ができていないお子さんが多いようです。御家庭で家庭学習に関する約束ごとを決めるなどして、習慣化ができるよう声かけや見届けをよろしくお願ひします。

なお、保護者の皆様からいただいた御意見・御要望については、校内で検討し、工夫・改善等に取り組んで参ります。御回答ありがとうございました。

4～よくあてはまる 3～ややあてはまる 2～あまりあてはまらない 1～まったくあてはまらない

【回収率79.6%】

番号	評価の観点	令和2年度 1学期	
		平均	割合
(1)	子どもは、学習用具を忘れずに登校している。	3.3	83%
(2)	子どもは、先生や友達の話をよく聞くことができる。	2.6	65%
(3)	子どもは、授業が分かりやすく楽しいと言っている。	3.4	85%
(4)	子どもは、自分が決めた年間読書冊数（ 冊）を目指して読書をしている。	3.0	75%
(5)	子どもは、自分が決めた目標時間（ 分）の家庭学習の習慣が身に付いている。	2.8	70%
(6)	子どもは、自分から進んであいさつができています。	3.3	83%
(7)	子どもは、自宅ではきものを揃えることができています。	2.7	68%
(8)	子どもは、誰とでも仲良くしている。	2.7	68%
(9)	子どもは、一日の出来事や困ったことが起きたとき、親に話をしている。	3.8	95%
(10)	子どもは、楽しく学校に通っている。	3.6	90%
(11)	学校は、教育方針や教育活動を分かりやすく伝えている。	3.4	85%
(12)	家庭では、学校や学級から出された文書を必ず読むようにしている。	3.6	90%
(13)	現在の学校に満足している。	3.4	85%

※ 割合は、4を100%とした場合の数値

### 令和2年度1学期 ふりかえりカード(児童)

